



Niigata Award

佐野藤三郎記念

食の新潟国際賞

世界を救う食のイノベーターに光を。

In Memory of Sano Touzaburo

**Niigata
International
Food Award**

食の増産と改善に成功したモデル都市 新潟。
その新潟が食に貢献し、実践する人、
団体、地域活動を表彰します。

食の新潟国際賞

(1) 目的

世界における食の質と量を高め、食の問題解決と食文化と食産業を創造的に発展させ、人類の福祉と健康・平和に多大な貢献のあった個人または団体を顕彰する。表彰式は2年に1回新潟市で開催。

目標 世界を救う食のイノベーターに光を

基本テーマ 食と生命

(2) 顕彰内容

■大賞(賞状、正賞トロフィー、副賞1,000万円)

研究や活動が世界的に高く評価され、
世界の食の課題の解決や発展に多大な貢献をするもの。

■佐野藤三郎特別賞(賞状、正賞トロフィー、副賞100万円)

世界や地域間での国際協力・支援活動や研究において
顕著な実績をあげたもの。

■21世紀希望賞(賞状、正賞トロフィー、副賞100万円)

将来的に世界貢献への可能性と実現性を有する研究や実践活動であり、
今後の発展と成果が十分に期待できるもの。

■地域未来賞(賞状、正賞トロフィー、副賞100万円)

新潟県内における活動や研究が国内外においても高く評価され、
地域の活性化と発展に大きく貢献するもの。



(3) 正賞(トロフィー「シュプリングン」)

佐渡市出身の世界的な金属工芸作家
で元文化庁長官の宮田亮平氏が一体
ずつ制作。
テーマは「跳躍。そして希望」。未来の希
望に向かって2頭のイルカが力強く飛躍
します。



(4) 実績

食の新潟国際賞は第1回
(2010年)から回を重ね、こ
れまでに合計7か国32名の
人や団体を表彰しました。

食の新潟国際賞の冠 佐野藤三郎氏(新潟市名誉市民)



佐野藤三郎氏(1923～1994)は新潟市の小作農家に生まれ、32歳で亀田郷土地改良区理事長に就任。40年間にわたり偉大なリーダーシップを発揮しました。「地図にない湖」と言われた湿地帯で、腰までつかる泥田が広がる地域を、日本有数の稲作地帯へと変貌させ食糧生産基盤を確立。農村と都市の融合による自立的な地域づくりをリードしました。

さらに、中国政府の要請を受け黒竜江省・三江平原の農業開発に尽力。日本のODA(政府開発援助)によるダム建設を実現し、国際協力と日中友好の発展に大きく貢献しました。その原動力は「世界の人口爆発に伴う食料供給問題と、環境問題への貢献は新潟の使命だ」という強い信念でした。



■食の新潟国際賞財団の趣旨

食の新潟国際賞は、世界の食をめぐる課題に挑戦し、めざましい成果をあげている人や団体を顕彰する事業です。

新潟はコメに代表される農業や食品産業を発展させてきました。しかし、新潟の稲作は、大河に囲まれた低湿地帯で腰までつかる泥田での厳しい農作業を強いられ、常に水と土との闘いの歴史でした。悪条件を知恵と努力と献身的な労働により克服し、全国一の美田を作りあげた先人の精神と情熱を次世代に継承し、新潟が世界に貢献する事業として、2009年に産業・学術・行政の有志により「食の新潟国際賞財団」が創設されました。

■財団の主な事業

1 「食の新潟国際賞」表彰事業

第1回(2010年)から隔年で開催。4つの賞の受賞者が新潟市での表彰式に出席し、記念講演会、祝賀交流レセプション等を行う。

2 食に関するシンポジウム等の定期的な開催

国際賞事業を通じて培われた国内外のネットワークを基に「食」をテーマにしたセミナーやシンポジウムを開催し最新の情報を提供する。

3 産学官連携事業

新潟県内の大学生等を対象に「にいがた食と農未来」学生ビジョンコンテストを開催。産学官の連携と人材育成に貢献する。

4 海外視察団派遣事業

2012年 中国・三江平原視察団派遣(以後5回派遣)
2013年 オランダ・フードバレー視察団派遣
2016年 米国カリフォルニア農業6次化視察団派遣

5 地域貢献事業への参加協力

新潟県等が進めるSDGs推進プラットフォームに協力。「食の新潟国際賞財団特別賞」を提供してSDGsへの取組みの重要性を周知する。

6 佐野藤三郎顕彰事業

新潟市名誉市民 佐野藤三郎氏の業績と情熱を多くの人々に知ってもらい、未来に引き継ぐための各種事業を実施。



■国際賞受賞者数(日本を含む7か国32名を表彰)

	大 賞	佐野藤三郎賞	21世紀希望賞	地域未来賞
第1回	1名	1名	1名	—
第2回	1名	1名	1名	—
第3回	1名	1名	1名	—
第4回	1名	2名	1名	—
第5回	2名	1名	1名	—
第6回	1名	1名	1名	1名
第7回	2名	1名	1名	1名
第8回	2名	1名	1名	2名
合 計	11名	9名	8名	4名

(地域未来賞は第6回より新設)



◀ 財団のYouTube動画は
こちらから

財団の主な活動

- 2009年(平成21年) 一般財団法人 食の新潟国際賞財団 設立
2010年(平成22年) 第1回食の新潟国際賞 表彰式
2012年(平成24年) 公益財団法人に移行
第2回食の新潟国際賞 表彰式
2014年(平成26年) 新潟「食と健康」フォーラム(2023年まで毎年開催)
第3回食の新潟国際賞 表彰式
2016年(平成28年) 第4回食の新潟国際賞 表彰式
2018年(平成30年) 第5回食の新潟国際賞 表彰式
2019年(平成31年) G20新潟農業大臣会合 記念シンポジウム
(令和元年) 財団創立10周年記念シンポジウム
2020年(令和2年) 第6回食の新潟国際賞 表彰式
2022年(令和4年) 第1回「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト
第7回食の新潟国際賞 表彰式
2023年(令和5年) G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議 記念シンポジウム
佐野藤三郎生誕100周年記念シンポジウム
2024年(令和6年) 佐野藤三郎氏が新潟市名誉市民に決定
第8回食の新潟国際賞 表彰式
2025年(令和7年) 財団創立15周年記念シンポジウム



賛助会のご案内

食の新潟国際賞財団事業に賛同し、応援をしてくださる皆様に募集しています。
財団の活動は皆様からご支援していただく会費・寄付金で運営しています。

- 正会員(賛助会費) 企業・団体 …… 年額5万円
個 人 …… 年額1万円
- 特別会員(寄付金) 企業・団体 …… 10万円以上

【賛助会員の特典】

- 国際賞の授賞式・記念講演会・祝賀会(夕食会)へのご招待
- 各種セミナー、講演会等へのご招待
- 財団通信等の会報誌と情報の提供
- 財団通信・HP等への会員の掲載
- 寄付金や賛助会費は、寄付金控除の対象となります

【入会方法】

会員へのご希望の方は財団事務局までご連絡ください。

公益財団法人 食の新潟国際賞財団 事務局

〒951-8063

新潟市中央区古町通7番町1010番地 新潟市役所ふるまち庁舎6階

TEL. 025-201-8901 FAX. 025-201-8902

E-mail: info@niigata-award.jp



シンボルマーク

赤は、豊かな食文化とみなぎる生命感を表します。円は「地球」「生命」「平和」を意味し、大きな円から新しい円が再生する瞬間をイメージ。白いセンターラインは飢餓の無い平等な社会の実現を目指します。



Niigata Award

「食の新潟国際賞」は新潟県・新潟市の補助金を受けて実施しています。

公益財団法人

食の新潟国際賞財団

〒951-8063

新潟市中央区古町通7番町1010番地 新潟市役所ふるまち庁舎6階

TEL. 025-201-8901 FAX. 025-201-8902

E-mail: info@niigata-award.jp